



となん

【学校教育目標】

- [知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒
- [徳] 豊かな心を持つ生徒
- [体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

発行者：校長

崎山 用彰



☆「QRコード」はデンソーウェーブの登録商標です（下地中学校HPへ）

2/27（金）下地良くし隊

宮古島警察署長から 感謝状贈呈

2/27（金）、みだしの「宮古島警察署長感謝状贈呈式」があり、我らが下地良くし隊も受賞いたしました（私は隊長として出席しました）。

【宮古毎日新聞Web版より】3月1日（日）9:00
安全守る活動たたえる／宮古島署
9団体10個人に感謝状



宮古島署（新垣健一署長）は2月27日、同署で2025年度宮古島署長感謝状の贈呈式を行った。25年度中に警察業務に積極的に協力した9団体、10個人に新垣署長から感謝状が授与された。



（画像の）感謝状には、「貴隊は下地地区において積極的な道路交通環境の整備を行うなど当署管内の交通事故防止に大きく貢献されました」と記載されており、身の引き締まる思いです。

今後の「下地良くし隊」の活動も頑張っていきたいと思っております。皆様のご理解、ご協力をお願いします。

3/2（月）Yahoo!JAPAN ニュース

宮古島近海で相次ぐ地震

沖縄気象台「トカラ列島近海で起きた地震のような群発的な活動」

【沖縄テレビ放送】3月2日（月）19:20

宮古島近海を震源とする地震が先週から相次いでいる事について、沖縄気象台は、2025年に鹿児島県のトカラ列島近海で起こった地震のような群発的な活動とみています。

宮古島地方では、2月27日からの3日間で震度2の揺れを観測したのが8回、震度1を11回観測しています。2025年12月からの2か月間で震度1以上の地震を観測したのは4回のみでしたが、3月1日までの3日間では19回と、宮古島近海を震源とする地震が頻発しています。

震源は南西諸島の北西の海上にのびる沖縄トラフに分布していて、過去にもマグニチュード6～7クラスの地震が起きた記録があります。

沖縄気象台は、宮古島近海で頻発している地震は2025年に鹿児島県のトカラ列島近海で起こった地震のような群発的な活動とみています。

防災バッグの準備や最寄りの避難所を確認するなど、日頃から防災への備えが必要です。



3/2(月) Yahoo!JAPAN ニュース
宮古島近海で相次ぐ地震
 沖縄気象台「トカラ列島近海で起きた地震のような群発的な活動」

☆80号①の続きです。

は、赤銅色に染まった月の姿が見えた。桃の節句の夜空を、神秘的に照らした。皆既月食は太陽と地球、月がほぼ一直線に並ぶ現象。部分月食は3日午後6時50分ごろから始まり、午後8時過ぎ、月が地球の影に完全に隠される皆既食となった。皆既食は約1時間続いた。

国立天文台によると、次に皆既月食が見られるのは、約3年後の2029年1月1日未明。

天気が良ければ全国で見られる。皆既月食の際、地球の縁を通過する太陽光のうち、波長の短い青い光は散乱し、波長の長い赤い光だけが通過する。そのため月が赤っぽく見える。



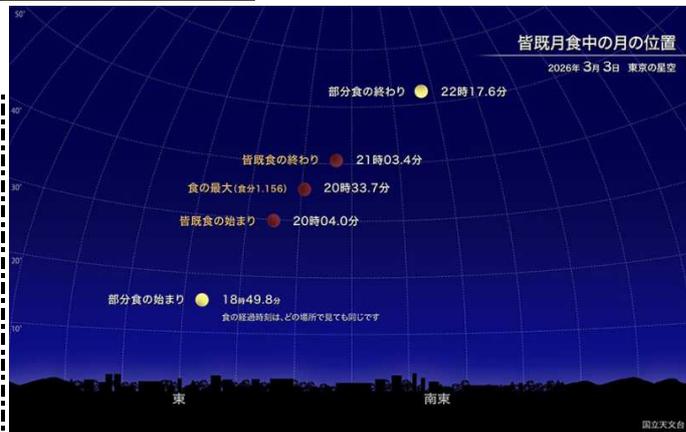
宮古島では見えましたか？私も南東方向の夜空を見たのですが、見つけれませんでした。でも、琉球新報社配信のYouTubeで確認をすることができました。皆さんは観測できましたか？次の画像は「皆既月食の月の位置」です。



画像は「地震に備えて(知る防災)日本気象協会 tenki.jp」から

沖縄気象台は、今後も活動が続く可能性があるとして、家具の固定、避難経路の確認、防災用品の再点検など日頃からの備えを強く呼びかけています。

生徒・保護者の皆さまにおかれましても、落ち着いて安全確保を最優先に行動し、正確な情報の収集に努めましょう。



3/3(火) 皆既月食2026
半年ぶり「皆既月食」
晴れ間から除いた赤銅色
次回は29年元日

【毎日新聞】3月3日(火) 20:58配信



満月が地球の影にすっぽりと入る「皆既月食」が3日夜、約半年ぶりに起こった。この日は全国的にぐずついた天気となったが、晴れ間がのぞいた那覇市内で

【お知らせ】

☆3/4(水)・5(木)は、「県立高校入学者選抜考査(特色選抜・一般選抜)」が行われました。合格発表は3/17(火)です。

☆3/8(日)は、「第78回卒業式」です。

皆で卒業生を祝福し、よりよい伝統や校風を引き継いでいきましょう。翌日3/9(月)は振替休日です。





となん

【学校教育目標】

- [知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒
- [徳] 豊かな心を持つ生徒
- [体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成



☆「QRコード」はデンソーウェブの登録商標です(下地中学校HPへ)

3/6(金)3年生、義務教育最後の給食

下地学校給食共同調理場から 一足早く卒業証書が届きました

3/6(金)、前日までの高校入試を終えた3年生にとっては、義務教育最後の給食の日でした。その日は、下地学校給食共同調理場から粋な計らいがありました。それは、みだしの「卒業証書(ケーキ)」です。贈呈後に撮影した画像がこちら。

翔之介さんに対しては、アレルギーに配慮した特製ケーキが振る舞われました(笑顔がいいですね)。

この日のメニューは、ケーキ(在校生



はオレンジ)、ポークカレー、りっちゃんのげんきサラダ、牛乳でした。下地学校給食共同調理場の皆さんに感謝ですね!



「卒業証書ケーキ」は、記念撮影のあと切り分けて3年生全員で食べました!

3A教室の黒板アート

教室の背景、気になりませんでしたか。これは、卒業生の歌「正解(RADWINPS)」の歌詞です。



ドラえもんのび太のイラストも含め、制作時間は2時間かかったそうです(担任の愛情が伝わりますね)。

3/8(日) 令和7年度「第78回卒業式」
**「図南鵬翼」の志で
 未来へ羽ばたこう!**

3/6(金)は、卒業式に向けた会場準備およびリハーサルを行いました。こちらの画像は、特別表彰「9カ年皆出席賞」を受賞した皆さんです。

- ☆川満蒼馬さん
- ☆川満勇起仁さん
- ☆仲地萌瑛さん

※「3カ年(9カ年)皆出席賞」については、新入生オリエンテーションで説明した通り、今年度で終了となります。ご了承ください。



本年度、「卒業式テーマ」の設定はありませんでした。ですが、私はみだしの『**「図南鵬翼」の志で未来へ羽ばたこう!**』がじっくりくると思い、号外のみだしにも使いました(次の画像)。

こうして3/8(日)、令和7年度「第78回卒業式」当日を迎えました。会場には、各学級(在校生からのメッセージやステンドグラス、モザイクアート等を掲示しました。

☆ Will you believe you can do it.

～自分の可能性を信じて～ 【1年A組】

☆自分らしさを大切に

夢に向かって新たな一歩を踏み出そう! 【1年B組】

☆その小さな一歩が

無限大の可能性につながる 【2年A組】

☆素晴らしい卒業生 夢に向かって

図南列車でさあ行くぞ! 【2年B組】

また、卒業生制作の「保護者への感謝のこぼれ」も掲示しました(式後に保護者に贈呈しました)。

ここからは、卒業式の画像を掲載します。



下中だより「となん」号外 令和8年3月8日(日)

となん

【学校教育目標】
 【知】自ら学ぶ意欲を持つ生徒
 【徳】豊かな心を持つ生徒
 【体】健康でねばり強い生徒

【学校経営目標】 【目指す生徒像】
 よりよい未来の創造と自己実現を目指し
 学び活動する生徒の育成

発行者: 校長 崎山 用彰

☆下中だより「となん」は、
 学校HPから閲覧可能→

3月8日(日曜日) 令和7年度 第78回「卒業式」
「図南鵬翼」の志で未来へ羽ばたこう!

本日、「令和7年度 第七十八回「卒業式」」を迎えました。
 私から卒業生の皆さんに贈る錢(はなむけ)の言葉は、「**節ありて竹つよし**(節目を乗り越えた人は、よりたくましく、より大きくなる、の意)」を贈ります。ご卒業おめでとうございます。

**節ありて
 竹つよし**



第78期の皆さん、ご卒業おめでとうございます。



となん

【学校教育目標】

- 【知】自ら学ぶ意欲を持つ生徒
- 【徳】豊かな心を持つ生徒
- 【体】健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し 学び活動する生徒の育成

発行者：校長 崎山 用彰



☆「QRコード」はデンソーウェーブの登録商標です(下地中学校HPへ)

3/10(火) 3・4校時 6年生×中学1年生

英語の合同学習

卒業式の余韻の残る3/10(火)、台湾交流室と図書室を会場に、小学6年生と中学1年生の「英語の合同学習」を行いました。



丁寧の説明をしている様子が見られました。作成したクイズも、6年生に好評だったようです。

中学生は、1学期に国語の時間に小学校を訪問して実施したプレゼンテーションの時よりも、成長した姿を見せることができたことでしょう。

中学1年生の皆さん、今回の英語の合同学習を通して、どんな力が身につきましたか？



例えば、「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方が発揮できたかどうか？そして、下地中学校の設定している6つの資質・能力「①主体性・②協働性・③言語能力・④国際性・⑤自己

画像でも分かるように、効果的な英語のコミュニケーションを図るため、タブレットPCを使っていました。

内容は、小学生は「興味のある学校行事や将来の夢などについて」、中学生は「下地中学校の様子について」交流をしていました。

スタート直後は、ネットが繋がりにくく、接続にかなり苦労したそうです。

6年生の発表では、FigJam(オンラインホワイトボード)を活用した自己紹介をしていました。初めは緊張していたものの、何度も発表を重ねるうちに緊張もほぐれ、笑顔も見られるようになりました。

中学生は、タブレット画面を指し示しながら、丁寧に説明をしている様子が見られました。作成したクイズも、6年生に好評だったようです。

中学生は、1学期に国語の時間に小学校を訪問して実施したプレゼンテーションの時よりも、成長した姿を見せることができたことでしょう。

調整力・⑥キャリアプランニング能力」のうち、特にどの資質・能力の育成を実感したのか？振り返っておきましょう。

何よりも、今回の合同学習は、学年を越えて互いに学び合い、高め合う貴重な時間となったことでしょう。4月からも、後輩の皆さんのお世話をよろしくお願ひします。頼りになる先輩の皆さん！

20110311 14:46

東日本大震災を忘れない

「2011年3月11日14時46分」は、東日本大震災が発生した日です。突然の強い揺れと巨大な津波により、たくさんの尊い

命や日常の暮らしが奪われました。被災された方々は、十年以上が経った今でも「日頃の備えと正しい行動が命を守る」と訴え続けています。私たちはこの教訓を決して忘れてはいけませんし、遠く離れた地域であっても、自分ごととして受け止めることが大切です。

そして今、宮古島近海では地震が頻発しています。普段は揺れの少ない地域のため、不安を感じた人も多いでしょう。しかし、こうした出来事こそ、あらためて防災について考える大切な機会です。「自分の地域は大丈夫」という思い込みをなくし、一人ひとりが“備える力”を持つことが必要です。



※②に続きます。

20110311 14:46

東日本大震災を忘れない

宮古島近海でも相次ぐ地震発生

地震のときに何より大切なのは、自分の命を守る行動を知っておくことです。大きな揺れを感じたら、まずは頭を守り、机の下や安全な場所に身を隠すこと。揺れがおさまったら、落ち着いて先生や大人の指示に従うこと。学校だけでなく、家でも避難場所や連絡方法、非常用品などを家族と話し合っておくことが、いざという時の大きな力になります。

災害はいつ起こるかわかりません。しかし、正しい知識と日頃の準備があれば、守ることができる命があります。東日本大震災の教訓を胸に、宮古島で続く地震を“他人事”にせず、今日から防災意識を高め、自分と周りの人の命を守る行動につなげていきましょう。関連して、沖縄タイムス「社説」を掲載します。

5 オピニオン

2026年(令和8年) 3月11日 水曜日

東日本大震災から15年

社説

東日本大震災の巨大地震と津波は、日本社会に計り知れない傷痕を残した。あれから15年。復興への歩みが続いていること、防災の取り組みに終わりがな

いことを確認したい。東北の沿岸部を中心に壊滅的な被害をもたらした1万5901人が命を落とした。2519人が今も行方不明のままだ。震災関連死は3810人による。交通網や生活基盤の整備は着実に進んでいる。岩手、宮城、福島では防

復興道路や復興支援道路は約半数の19市町で、死者・行方不明者の氏名を刻んだ公営住宅も計画された約2万9千戸が完成した。一方で、産業の再建は道半ばだ。特に東北沿岸の主要魚市場の水揚げ量は震災前の半分程度にとどまる。震災15年を前にした全国

世論調査では「被災地の復興は順調」と評価する人は6割弱となっている。暮らしや地域社会が再生できているのか。被災地に目を凝らし、被災者の声に耳を澄ます必要がある。「風化の波」にあらがう動きも出ている。津波で犠牲者が出た36市町村のうち

約半数の19市町で、死者・行方不明者の氏名を刻んだ公営住宅も計画された約2万9千戸が完成した。一方で、産業の再建は道半ばだ。特に東北沿岸の主要魚市場の水揚げ量は震災前の半分程度にとどまる。震災15年を前にした全国

約半数の19市町で、死者・行方不明者の氏名を刻んだ公営住宅も計画された約2万9千戸が完成した。一方で、産業の再建は道半ばだ。特に東北沿岸の主要魚市場の水揚げ量は震災前の半分程度にとどまる。震災15年を前にした全国

世論調査では「被災地の復興は順調」と評価する人は6割弱となっている。暮らしや地域社会が再生できているのか。被災地に目を凝らし、被災者の声に耳を澄ます必要がある。「風化の波」にあらがう動きも出ている。津波で犠牲者が出た36市町村のうち

約半数の19市町で、死者・行方不明者の氏名を刻んだ公営住宅も計画された約2万9千戸が完成した。一方で、産業の再建は道半ばだ。特に東北沿岸の主要魚市場の水揚げ量は震災前の半分程度にとどまる。震災15年を前にした全国

世論調査では「被災地の復興は順調」と評価する人は6割弱となっている。暮らしや地域社会が再生できているのか。被災地に目を凝らし、被災者の声に耳を澄ます必要がある。「風化の波」にあらがう動きも出ている。津波で犠牲者が出た36市町村のうち

約半数の19市町で、死者・行方不明者の氏名を刻んだ公営住宅も計画された約2万9千戸が完成した。一方で、産業の再建は道半ばだ。特に東北沿岸の主要魚市場の水揚げ量は震災前の半分程度にとどまる。震災15年を前にした全国

教訓つなぐ責任忘れぬ



となん

【学校教育目標】

- 【知】自ら学ぶ意欲を持つ生徒
- 【徳】豊かな心を持つ生徒
- 【体】健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成



☆「QRコード」はデンソーウェブの登録商標です(下地中学校HPへ)

「読書で自己を高めよう」ブックトーク

宮島未奈さん 「成瀬は都を駆け抜ける」

最近私が読んだ本を紹介しているブックトークのコーナーですが、今回は宮島未奈さんの「成瀬は都を駆け抜ける」です。

みなさんは、「自分の好き」「自分のやりたい」を大事にできていますか？周りの空気を読んで、本当の気持ちをしまいこんでしまうことはありませんか？

今回紹介する宮島未奈さんの「成瀬は都を駆け抜ける」に登場する主人公 成瀬あかりは、そんな“遠慮”や“ためらい”とはほとんど無縁の人です。



成瀬シリーズは今回3作品目となり、舞台は大学生。京都の街を舞台に、彼女はただ「自分がやりたいと思ったこと」を、まっすぐに、迷いなく実行していきます。しかも、それが普通では思いつかないようなことばかり。周りの人

が呆れたり、驚いたりするほど大胆です。でも、成瀬の魅力はそこにあります。誰にどう思われようと、彼女は自分の気持ちに正直で、決めたことは必ずやり切る。その姿が、どこか痛快で、読んでいて気持ちがいいのです。

けれど、この物語は「成瀬あかりが大活躍する話」だけではありません。多くの章は“成瀬から見た世界”ではなく、“成瀬を見つめた周りの人たちの視点”で語ら

れています。大学の友人、偶然関わった中高生、町で働く大人たち。彼らはそれぞれ悩みを抱えていたり、過去にとらわれていたり、勇気が足りなかったりします。そして、そんな彼らの前に突然あらわれるのが、成瀬あかり。もちろん、成瀬は誰かを助けようなんて考えていません。ただ、自分がそうしたいから行動しているだけ。でもその自然なふるまいが、ふと誰かの心を動かし、人生の流れさえ変えてしまうのです。

たとえば、悩んでいた大学生が、成瀬のまっすぐすぎる言葉にハッとし、勇気を出して新しい道に進む場面があります。また、社会に出てから疲れてしまった大人が、「こんなふうにも生きてもいいんだ」と励まされることもあります。成瀬は、誰かを励ますつもりがなくても、彼女の行動そのものが“風”のように周囲を変えていくのです。

では、なぜ成瀬はそんなにも人を動かしてしまうのでしょうか。その理由のひとつは、成瀬が「自分で選んで、自分で責任を持って生きている」からです。誰かの目を気にしすぎたり、無難さを優先したりしない。大学生という立場は、自由もあれば不安もある難しい時期ですが、その中で成瀬は自分を信じて行動しています。

みなさんも、こんなふう感じたことはありませんか？

「本当は意見があるけど、クラスで言いにくい」

「まわりからどう見られるか気になる」

「挑戦したいのに、失敗が怖くて踏み出せない」

そんな気持ちは、だれだってあります。

でも、成瀬の生き方を見ると、「自分も少しだけやってみようかな」と思えてきます。

※83号②に続きます。

宮島未奈さん 「成瀬は都を駆け抜ける」

「成瀬は一」シリーズ3作目

※「ブックトーク」の続きです。

彼女の行動を見ているとわかるのは、“特別な才能がなくても、自分の生き方は自分で選べる”ということです。成瀬は、特別に頭がいいわけでも、超人的な力を持っているわけでもありません。でも、「こうしたい」と思ったら、まっすぐ進む。そのシンプルさが、読者の心を動かします。みなさんにとって、成瀬の姿は“未来の自分”に少し重なるかもしれません。

中学生の今、もし何か迷っていることや、やりたいのに踏み出せていないことがあるなら、成瀬の姿が背中を押してくれるかもしれません。物語を読み終えると、こんな感覚が残ります。

「自分も、自分のペースで走っていいんだ」

「自分が選んだ道なら、胸を張ればいい」

そんなシンプルで大切な思いです。

成瀬あかりという一人の大学生が、京都という街を舞台に、まわりの人々の心に小さな波を起こしていく物語。読む人それぞれが自分の「これはやってみたい!」を発見できる作品です。さあ、あなたも成瀬と一緒に、日常の一步外へ踏み出してみませんか?きっと、世界の見え方が少し変わるはずですよ。

☆読書メーター(KADOKAWA)から「感想」を紹介します。<https://bookmeter.com/books/22923973>

くうさん：成瀬シリーズ完結。一番の感想は寂しい。島崎あつこの成瀬だけど、一番好きな話しは母目線の「そういう子なので」でした。大学で出会った人たちもよいキャラでした。森見登美彦は京大生にとって特別なんですね。

ふあるたさん：成瀬は最後まで成瀬で良かった。ブレることなく突き進む成瀬の話がとても良い。が、3冊目になり、周りのキャラが段々濃くなってきて成瀬の濃さが薄まった気もする。面白いことに変わりはないが。

じょうきさん：図書館本。成瀬あかりシリーズ最終巻。読み終えるのが勿体ないと思いながら、読み始めたら楽しくてペースを落とせなかった。よく知る風景が舞台なのも個人的にテンションが上がる要因。京都大学に進学した成瀬あかりが、新たな人間関係で我が道を行く。もう黄金パターンだが、成瀬が口を開くだけでももう楽しい。森見登美彦リスペクトが溢れているのも楽しい。ぼきののかもキャラクターが強烈でよかった。もちろん島崎も登場し、みんな勢揃いで迎える大団円は素敵だったが、これで終わりはやはり寂しい。社会人編など続けてくれないものかと切に思う。

夏希さん：いやー、今回も成瀬節全開だった🍷坪井に達磨研究会にと新たな面々も加わりつつ、今まで登場した人物たちも成瀬に誘われて登場。そして、成瀬と島崎の友情は京都と東京離れ離れになっても健在でこっちまで嬉しくなった。二百歳まで生きる成瀬を隣で見守る島崎の弾けるような笑顔と成瀬の無表情が今から想像できる。成瀬みたいに周りを巻き込みつつ自分のやりたいことを達成していくって案外難しいだろうな。成瀬は徳分があるんだな。羨ましい。あと、西浦くんととの恋路が気になる。また特別編とかで『成瀬は恋をする』とかで読みたい。

シリーズ第1作「成瀬は天下を取りに行く」、第2作「成瀬は信じた道をいく」も読むことで、伏線も回収されます。ぜひ「成瀬シリーズ」を読破しましょう!





となん

【学校教育目標】

- [知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒
- [徳] 豊かな心を持つ生徒
- [体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成



☆「QRコード」はデンソーウェーブの登録商標です(下地中学校HPへ)

下中だより「となん」第20・21・22号を使った全校道徳(1年生・2年生対象)

『どうせ無理』の壁を壊し、よりよい未来の扉を開こう!

こんにちは。春休みに入って1週間近く経ちました。今回は、みだしの全校道徳『どうせ無理』の壁を壊し、よりよい未来の扉を開こう!』について紹介します。



今回の道徳は、3/17(火)5校時、卒業生を見送った後だったので、1年生と2年生を対象に、台湾交流室で行いました。私は福嶺中学校勤務以来(10年ぶり)の道徳授業だったので、とても緊張しました。教材は、下中だより「となん」第20~22号を使って、タイトルをそのままテーマとして行いました。内容項目は「A(4)希望と勇気、克己と強い意志」です。プレゼンデータを使って授業を振り返ります。

可能性に蓋をする「呪いの言葉」



- 口にした瞬間、挑戦する前から心が諦めてしまう。
- 自分で大きな壁を作り、その先に進むのをやめてしまう。
- 使い続けると、自己肯定感が下がり、「自分には何もできない」と思い込んでしまう。

その壁を壊す武器： 宮古島の「アララガマ精神」

「なにくそ、負けるものか!」
「どんな困難にも屈しないぞ!」



不屈の精神と、強い心意気。

歴史が証明する「不可能」の嘘

私たちの愛する宮古島には、「どうせ無理」という巨大な壁を打ち破ってきた壮大な物語が刻まれています。



CASE 1: 伊良部大橋

「本当に完成するのだろうか?」
厳しい自然条件、長い年月、莫大な費用。
「途中で諦めてしまうのではないか?」



情熱が架けた、日本有数の美しい橋

「二つの島をつなげたい」「暮らしを良くしたい」という強い願い。多くの技術者や作業員が、知恵を絞リ、汗を流し、悪天候にも負けずに努力を続けた成果。

下中だより「となん」第20・21・22号を使った全校道徳(1年生・2年生対象)

『どうせ無理』の壁を壊し、 よりよい未来の扉を開こう!

※「全校道徳」の続きです。「歴史が証明する『不可能』の嘘」伊良部大橋架橋に続いて……。



CASE 2: 地下ダム

- ・川がない宮古島で、どうやって水を確保するのか?
- ・「地下にダムなんて、本当にできるのか?」
- ・「そんな途方もない計画、失敗するに決まっている」

© NotebookLM



見えない地下に造られた 「巨大な水の器」

- ・世界でも類を見ない壮大なプロジェクト。
- ・「水に困らない豊かな島を次世代に残したい」という次世代に残したい
- ・蛇口をひねれば水が出る、先人たちの努力の賜物。

© NotebookLM

CASE 3: 人头税の廃止



© NotebookLM



© NotebookLM

正義と未来を信じて 立ち上がった勇氣

- ・中村十作たちによる、東京への直訴と命がけの活動。
- ・「おかしいじゃないか!」と声を上げ、仲間と共に強大な相手に立ち向かった。

共通点は「どうしたら実現できるか」

どうせ無理

どうしたら できるか

どうせ無理

そこにいたのは、「どうせ無理」と諦める人ではなく、「どうしたらできるか」を考え抜いた人々です。失敗は恥ではない。挑戦したからこそ得られる「成長の糧」です。

© NotebookLM

あなたの中にもある「アララガマ精神」



自転車に乗れた日:
何度転んでも諦めなかったから、乗れるようになった。



泳げるようになった日:
怖くても勇気を出して練習したから、進めるようになった。

これらは全て、「どうせ無理」の壁を乗り越えてきた証です。

© NotebookLM



あなたは一人じゃない

先生、友達、家族。
みんながあなたの応援団です。

困った時に「助けて」と言うのは、弱さではなく賢明な一歩。

下地中学校は、安心して失敗し、そこから学べる場所です。

© NotebookLM

「どうせ無理」を捨てて、未来へ!



「よし、やってみよう!」

「できるはずだ!」

「どうしたらできるかな?」

今日から心の辞書にある「どうせ無理」を消して、この言葉を合言葉にしましょう。皆さんの可能性は、宮古島の海や空のように無限大です。

© NotebookLM

今回紹介したプレゼンや授業で紹介した動画は、「NotebookLM(生成AIアプリ)」を使って作成したものです。プレゼンは印刷室前に掲示してあるので、授業を思い出しながら見てください。

授業の振り返りを学級代表で発表してくれた1A 慶吾さん、1B 新太郎さん、2A 陽好さん、2B 莉依菜さん、ありがとうございました!



となん

【学校教育目標】

- [知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒
- [徳] 豊かな心を持つ生徒
- [体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしゅう

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

発行者：校長 崎山 用彰



☆「QRコード」はデンソーウェブの登録商標です(下地中学校HPへ)

3/18(水)6校時 海峡横断 SUP レーサー
来間翔太さんによる「未来講話」

『自己超越』 ～夢との向き合い方～

春休み期間中第2弾は、みだしの「海峡横断 SUP レーサー来間翔太さんによる『未来講話』」について紹介します。

今回の未来講話は、前日の「全校道徳」の余韻の残る中、3/18(水)6校時、体育館で行いました。講師の来間翔太さんは「KURIMATARAMA 間



52km」の海峡横断を、3/11(水)に6時間20分をかけて世界で初めて成功させた人物です。

(NotebookLM 作成の)プレゼンデータを使って講演を振り返っていきましょう。

「KURIMA・TARAMA 52km」 前人未踏の青写真

世界一のSUPレーサーが証明した「どうせ無理」の壁の壊し方

来間翔太 (Shota Kurima)

52km。 6時間20分。

宮古島に隣接する来間島から、多良間島へ。波と風が支配する過酷な海峡を、スタンドアップパドルボード (SUP) 単独で横断する世界初の挑戦。

これは単なるスポーツの記録ではない。一人の男が、自らのルーツと向き合い、社会の「どうせ無理」という常識を覆した航海の記録である。

挫折から、世界最高峰の舞台へ



なぜハワイではなく、故郷の海だったのか？

【ルーツへの回帰】

世界一の称号を手にした後、真の目的は「過酷な環境で己のパフォーマンスを発揮すること」だと気づく。

【歴史の継承】

父の出身地である来間島。そこはかつて、日露戦争の危機を知らせるため、5人の漁師(久松五勇士)がサバニ舟で命がけの海峡横断に挑んだ出発点だった。

「来間・多良間の52kmは、ハワイと同じ距離。これは偶然ではない。」

世界最高峰の海峡比較：モロカイ vs 来間・多良間

比較軸	【ハワイ】モロカイ海峡	【沖縄】来間・多良間海峡
距離	52km	52km
波と風の質	偏西風による一定の東風とうねり	季節の変わり目と複雑な海底地形が生む「3方向からの予測不能なうねり」
モチベーション	アスリートとしての「世界一の称号」	自らのルーツと、沖縄の「誇りの再発見」
歴史的背景	現代の確立されたレース航路	久松五勇士の伝説のみが残る、前人未踏の海域

5年間の空白：「どうせ無理」という呪縛

「夢があれば
幸せなのか？」
答えは否。行動に移
せない不安が、逆に
人を苦しめる。



完璧な舞台と大衆を見つけてから、実際に動き出すまでに「5年間」の月日が無為に流れた。

最大の敵は海ではなく、自分自身の心の中にあった。

アイデア

3/18(水)6校時 海峡横断 SUP レーサー
来間翔太さんによる「未来講話」

『自己超越』 ～夢との向き合い方～

※「未来講話」の続きです。

壁の壊し方：「自分が馬鹿になる」アルゴリズム

Dream Accelerator Funnel (夢の実現加速漏斗)

Step 1: 夢を語る(自己開示と誇り)。200人以上に具体的な「企画書」をプレゼン。

① 無関心 → 【対処法】自分の伝え方を反省し、企画をブラッシュアップする。

② アドバイスっほい否定 → 【対処法】「どうしたら実現できそうですか?」と問い返し、知恵を借りる。

③ 共感・応援

【結果：具体的な支援の獲得】
「ロゴを作るよ」「船を出すよ」という形に変わる。

魔の海峡メカニズム：予測不能な「3方向のうねり」

要因1: 海流の深い谷という複雑な地形が波を増幅させる。

要因2: 季節の変わり目による不安定な風(梅花からの風の衝突)

要因3: 前日からの強風による「残されたうねり」。

【極限状態】
最も穏やかな「小潮」の日も遠だにみかかわらず、身長3倍に達する波が3方向から襲い掛かり、ボードの上に乗っくとしたら困難に。

決行の日。52kmのエモーショナル・ジャーニー

04:30 - 07:10 (折りと出発)
余料を届のエネルギーを味わわず遠くへ旅へ。美瑛島の「魔空の壁」で足踏み歩きの準備。日の出とともに決行。

中間地点 (うねりとの死闘)
想定外の激しいうねり。機体も崩れに倒れた。

35km地点 (渾身創傷の壁)
体力的限界。ウツムラと身置の壁の効果が持続を失い、変えてくれた人々の勇気が浮かん。

13:30 (到達と帰路)
6時間20分の行脚の末、多良間島へ到着。「雪天断罪」にて幕を閉じる。

「アララガマ魂(不屈の精神)」の正体

【過去】
先人「久松五勇士」へのリスペクトと、自らに流れる琉球のDNA。

【現在】
多良間島で待つ仲間と、プレゼンを通じて巻き込んだ200人のサポーターの顔。

【未来】
沖縄の子供たちに、自分たちの海への「誇り」を、取り戻すという使命感。

【アララガマ魂】これら3つの想いが交差した時、個人の体力を超えた「不屈の推進力」が生まれる。

本当の目的：海への「劣等感」を「誇り」へ変える

【歴史的な断絶と劣等感】
米軍基地や観光客のための海という認識。琉球道分断のサバニ禁止令などにより、沖縄の子供たちは自らの海に距離を感じている。

【横断の瞬間の気づき】
DNALレベルの喜びと民族としての誇りの爆発。

【次世代への使命】
この体験を次世代へ。自分たちには、世界に誇れる「挑戦の舞台」があるという希望の証明。

個人の夢から、世界の「KURIMA TARAMA」へ

【ビジョン】
前人未踏の航路に名前が付き、道が確立された。

【目標】
5年後までに、ハワイのモロカイ海峡と並ぶ「国際コース」として世界大会を開催する。

【最大の恩返し】
世界各国のパドラーがこの海峡の深さを母国へ語り継ぐこと。それこそが、海が教えてくれた「どうせ無理」を打ち破る力への、次なる航路となる。

講話の途中で紹介された動画は、こちら。
<https://www.youtube.com/watch?v=W-3Je1g3Nrk>



来間翔太さん、世界初の快挙おめでとうございます。翔太さんは、講話の最後に『「KURIMA・TARAMA 海峡コース」を他国の SUP 仲間に体験してもらい、5年後までには国際公認コースにしていずれは世界大会を開きたい!』と宣言していましたね。また、最後の画像の背景に写る「久松五勇士」の辿った「MIYAKO・YAEYAMA」にもチャレンジするみたいですよ(距離はいったい何kmになるのでしょうか)!